要性は益 日本大震災以降、 ましたが、 々高まって 昨 **:**年3月 その 0) ま 必 東

が必要不可欠との考えか 向上のため自主防災組織 ています。 織を立ち上げていただい 現在までに、24の町内会 を呼びかけてきました。 会に自主防災組織の設立 町 平成23年から各町内 では、 11の町内会で組 地域の防

域は自分たちで守る」と 域住民が「自分たちの地 いう考えに基づき、 自主防災組織とは、

> 0) 加

告知端末·

電話番号

5-2216

5-2134 5-2111

5-1593

5-1321

• 5-2554

• 5-2237

• 5-2544

• 5-2501

• 5-2500

• 5-2506

• 5-2550

• 5-2546

6−5400

• 6-5120

• 6-5312

• 6-5533

• 6-8016

6-5141

6-5006

6−5459

• 4-3340

の点検、 活動、 難誘導、 発や地域内の安全や設備 的 どの役割を担います。 報の収集・伝達、初期消火 が発生した場合には、 行います。 平常時には防災知識の啓 に結 被災者の救助や非 防災訓練などを 避難所の運営な する組 そして、 です。 災害

考えています。 組織と連携した防災訓練 るところで、 実施について検討して 実績を重ねていこうと いただける方々と訓練 町としても、 まずは参 自主防災

17

0)

ます。 |緊急放送|として放送し

す。 とをお知らせします。 重要なお知らせであるこ 音量でサイレンが鳴りま チャイムではなく、 緊急 その他、 画面も赤く表示され 放送は、 携帯電話事業 通 常 最大 0)

した緊急性の高い災害情 ができます。町内で発生 スについても受けること 者各社が提供している |緊急速報メール|サービ 町内エリアにある

> 携帯電話にメール されるものです。 で配

信

把握して、迅速な行動が することは十分に可能で 出来れば、被害を少なく 段から避難の仕方などを でも、情報を収集し、普 ないものがほとんどです。 力では避けることができ

家族との連絡はどうする

自然災害は、私たちの

う行動を取れば良いのか、 いざという時、どうい

字問寒別8番地 問寒別町民会館 字雄興22番地 雄興集会所 ※●は告知端末機のみの番号です。 町内の一時避難場所 所 在 東町25番地 幌延小学校グラウンド 幌延中学校グラウンド 字幌延102番地 問寒別小中学校グラウンド 字問寒別130番地 上幌延地区グラウンド 字上幌延98番地 開進地区グラウンド 字開進176番地 下沼地区グラウンド 字下沼270番地 ____ 上問寒地区グラウンド 字上問寒22番地 中問寒地区グラウンド 字中問寒170番地 雄興地区グラウンド 字雄興20番地

せますケン」を活用して、 置した告知端末機「知ら

合には、

昼夜を問

わず

難行動です。

町では、

町内全戸

に設

た場合や、

幌延町に緊急

町内の避難所

幌延小学校

幌延中学校

幌延町総合体育館

幌延第1集会所

南上幌延集会所

下沼生活改善セ

問寒別西集会所

問寒別南集会所

問寒別小中学校

開進集会所

下沼寿の家

幌延西集会所

設

幌延深地層研究センター国際交流施設

幌延町生涯学習センタ

追分生活改善センタ

上幌延生活改善センタ

__ 上問寒生活改善センタ

中問寒生活改善センタ・ 問寒別東生活改善センター

問寒別生涯学習センタ

施

一震速報が発せられた場

弾道ミサイルが発射され

基にした冷静な判断と避

ます。

例えば、

他国から

に応じて随時お知らせし

な情報の伝達と、

大事なのは、

正確で迅速 それを

気象情報などを、

緊急度

名

万

が

一の災害のときに

国

|民保護情報や地震情報

所

在

東町25番地

栄町5番地

宮園町1番地

宮園町1番地

字幌延223番地の1

字幌延278番地

字幌延514番地

字上幌延99番地

字開進176番地

字開進35番地の1

字下沼52番地の3

字下沼270番地の1

字上問寒227番地 字中問寒222番地

字問寒別571番地

字問寒別355番地

字問寒別186番地

-字問寒別130番地

字問寒別135番地

字幌延102番地

地

その他の防災対策

しょうか。 て確認してみてはどうで は家族みんなで話し合っ るものは何か、ときどき 避難の際に持ち出せ

せは、 防災対策へのお問い合わ

電話 告知端末機5-8811 総務課総務グループへ 5-1111